



年 組 名前

# 道新でワークシート



## 銀色鮮やか 秋サケ解禁

【大樹】秋サケ定置網漁が30日、道内のトップを切り道東の太平洋沿岸で解禁され、十勝管内大樹町の大樹漁港では、銀色に輝く秋サケ約7トが初水揚げされた。ここ数年は不漁続きだが、今季は来遊量の回復が見込まれており、浜は活気づいた。

### 大樹で定置網漁 来遊回復に期待

解禁されたのは釧路、根室、十勝、日高の各管内の計14漁協。大樹漁協（神山久典組合長）では午前4時ごろ、漁船5隻が出漁し、沖合に定置網を設置。いったん帰港した後、午前11時ごろに再出漁し、7・1トを水揚げした。浜値は昨年よりやや安く、雌が1キ720円、雄が同410円となった。

同漁協の伊藤浩二専務理事は「型も大きく、量もある」と話した。十勝管内では広尾漁協、大津漁協（豊頃町）が31日、釧路管内は9月2日からの見通し。大津漁協の長浜竜一専務理事は「来遊の復活に期待したい」と話した。

（大能伸悟、岩瀬貴弘）  
大樹漁港で初水揚げされた秋サケ。来遊量の回復に期待が高まる。30日午後0時20分（村本典之撮影）

2019年8月31日（土）朝刊 全道版 32ページ

①小見出しにある「秋サケ解禁」の「解禁（かいきん）」とは、どのような意味（いみ）でしょう。次（つぎ）の中から選（えら）びなさい。ちなみに、次（つぎ）の三つの文は、どれも「かいきん」という言葉（ことば）の意味（いみ）を表（あらわ）す文です。

- ア. 一日も休まず出勤（しゅっきん）・出席（しゅっせき）すること
- イ. 襟（えり）を開（あ）けること、また開（ひら）いている状態の襟（えり）
- ウ. 禁止（きんし）していたことを解（と）くこと

②大樹漁協（たいきぎょきょう）でのサケの初水揚（はつみずあ）げは、いつごろだったでしょう。次（つぎ）の中から選（えら）びなさい。

- ア. 8月30日の午前4時前
- イ. 8月30日の午前4時～11時の間
- ウ. 8月30日の午前11時～午後1時の間
- エ. 8月31日（時間は分からない）
- オ. 9月2日（時間は分からない）

③写真（しゃしん）の説明（せつめい）に「来遊量（らいゆうりょう＝（サケ）がやって来る量）の回復（かいふく）に期待（きたい）が高まる」とありますが、そのわけは何だと思えますか。